

クラス番号	232	ゼミタイプ	多職種連携型
		担当教員名	横山 由香里
テーマ	当事者・行政・医療福祉専門職と考える認知症の人・家族の Well-being		

ゼミナール概要

目的、内容、方法等：

【目的】

病気や障害があってもその人らしい生活を送るためには、どうしたらよいのでしょうか？
まずは、当事者の思いを理解するよう努めることが重要になります。そして、その思いに応えるためには、様々な人や組織が連携・協働していくことが求められます。

➡ このゼミの目的は、①地域で暮らす認知症のご本人やご家族のニーズや Well-being について理解を深めること、②多職種・多機関の連携について学ぶことです。

【内容】

ゼミでは、認知症のご本人・ご家族、様々な組織・専門職*の皆様にご協力いただきながら、インタビュー調査などを行います。得られた声を基に、認知症の人やご家族のニーズや Well-being の向上について考えます。

※「組織・専門職」として、医療福祉の専門職や、行政、社会福祉協議会、ボランティアの方々を想定しています。

【方法等】

前期：

- 4月～5月 認知症のご本人やご家族に関する文献を読んで理解を深めます
- 5月～6月 認知症の支援に関わる皆様のレクチャーを受けたり、インタビューを行ったりします
- 6月～7月 グループにわかれて認知症の方やご家族の集う場に伺い、インタビュー調査を行います
【日程を調整する関係で、一部の調査は夏休み中になるかもしれません】

後期：

- 9月～10月 お伺いしてきた「声」を整理します
- 10月～11月 認知症の人やご家族のニーズ、Well-being について考えます
- 11月～12月 得られた成果を報告します

活動場所は、名古屋市西区（病院や区役所、コミュニティセンター等）を予定しています。年間で2回程、現地に行きます。交通費の一部を補助しますが、全額は難しい可能性もありますのであらかじめご了承ください。

担当教員からのメッセージ



医療機関で働きたい人、社会福祉施設で働きたい人、行政に興味がある人、進路に迷っている人・・・、いろいろな学生さんを歓迎します！

ただし、ゼミ活動で出会う相手の気持ちを大事にいただける方に参加していただきたいと思っています。ゼミでは、認知症当事者の方や、その方たちを支えたいと考えている専門職の方々にインタビューをさせていただきますので、感謝の気持ちをもって参加していただける方を希望します。

居心地が良く、主体的に学べるゼミにできればうれしいです。